



| | |
|----------------|---------------------------|
| 【審査証明番号／有効期限】 | BCJ-審査証明-230／2021年9月25日 |
| 【技術の名称】 | 改質アスファルト防水 常温複合法「アスレイヤ工法」 |
| 【依頼者(審査証明取得者)】 | 田島ルーフィング株式会社 |

【技術概要】

在来のアスファルト防水熱工法の水密性・信頼性に対応する技術を有するアスレイヤ工法は、プレポリマー成分である A 剤とアスファルト系硬化剤成分である B 剤を混合攪拌して使用するポリマー改質アスファルト系塗膜防水材と強靱で柔軟性の高い改質アスファルトルーフィングを組み合わせた常温複合法であり、一体化したメンブレン防水層を形成し、長期に渡り安定した性能を保持する。

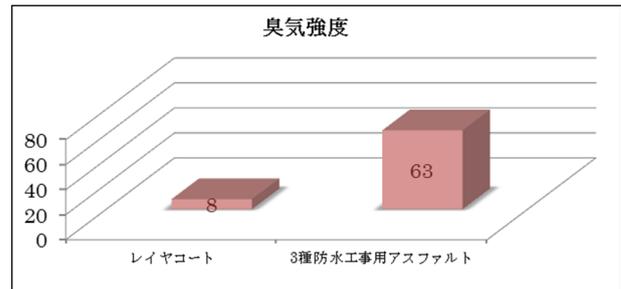
■ PAL-2S 仕様

| | |
|---|---------------------|
| 1 | 水性プライマーAS |
| 2 | レイヤベース FS |
| 3 | レイヤルーフ (レイヤコート流し張り) |
| 4 | レイヤコート塗布 |
| 5 | 絶縁シート |

| | |
|---|-------------------------|
| 1 | 水性プライマーAS |
| 2 | レイヤベース F |
| 3 | レイヤルーフ (レイヤコート立上り用塗布張付) |
| 4 | レイヤコート塗布 |

温(約260℃)なので「火傷」「煙」「臭気」等の作業環境にも問題を抱えている。

アスレイヤ工法は、在来のアスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有し、作業環境に配慮した積層防水である。



【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 在来のアスファルト防水熱工法と比較して、簡易な工程で同等の防水性能を有するものと判断される。
- (2) 加熱溶融アスファルトを使用しないことにより、在来のアスファルト防水熱工法と比較して環境負荷の軽減を図れるものと判断される。

【本技術の問い合わせ先】

田島ルーフィング(株) 営業企画部テクノサービス課

TEL 03-6837-8880

技術紹介サイト

<http://tajima.jp/waterproof/asphalt02/aslayer/index.html>

【開発の趣旨】

在来のアスファルト防水熱工法は、アスファルト系ルーフィングを溶解釜で溶融させた防水工用アスファルトで張付けて防水層を形成させる積層防水である。

積層工法により防水信頼性は高いが、大型溶解釜装置の運搬・搬入・荷揚げ等の移動に関する問題が以前からある。また、裸火を使用するため火災の懸念や溶融アスファルト温度が高